

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	37223	
事業名	地域支え合い有償ボランティア事業補助金						
評価担当課	所属名	保)総務部 総務課					
	課長名	高橋 俊範	担当者名	岩谷 亥・横山 雅	電話番号	011-211-2932	
施策名	主	地域に密着した保健福祉サービスを提供する環境づくり					
	副						
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外			
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	○ 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ● 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	有償ボランティアの派遣調整等を行うことにより、困りごとを抱えた市民の生活を支援する。				
		長期	日常生活で支援を必要とする人々に対するセーフティネット機能を果たすことにより、誰もが住み慣れた地域で暮らすことができる社会に寄与する。				
	取組内容	日常生活で支援を必要とする高齢者、心身障がい者等に対しボランティアを派遣し、低廉な料金で家事援助・外出援助等の在宅福祉サービスを提供している札幌市社会福祉協議会に対して、事業実施に係る人件費を補助する。					
	実施結果	家事援助・生活援助・外出援助の在宅福祉サービスの需給調整を行い、延べ14,884回のサービスを提供した。その他、会員の募集・研修会の開催、事業啓発のための会報誌の発行等を行った。					
事業実施における工夫点	毎月事業実績報告を受けることにより、適正実施の確保に努めている。						
対象者	日常生活に支障があり、支援を必要としている市民			開始	平成2年度	終了	0年度
関連法令・条例・要綱等							
他都市の状況	さいたま市、新潟市などで社会福祉協議会が同様の事業を行っている。						

◎事業費

(単位:千円)

		令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費		15,870	16,000	15,879	16,000
うち特定財源		2,956	2,965	2,965	2,962
人工		0.2	0.2	0.2	0.2
人件費		1,440	1,440	1,440	1,440
計(事業費+人件費)		17,310	17,440	17,319	17,440
事業費の内訳	令和3年度決算	15,879千円 【内訳】 一般職人件費 12,914千円 嘱託職員人件費 2,965千円			
	令和4年度予算	16,000千円 【内訳】 一般職人件費 13,035千円(政策経費端数調整121千円含む) 嘱託職員人件費 2,965千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	サービス提供回数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	16,433回	21,741回	14,884回	14,884回	
活動指標2	指標名	サービス提供世帯数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	5,112世帯	6,450世帯	4,644世帯	4,644世帯	
成果指標1	指標名	会員登録者数(年度末時点)			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	1,664人	1,849人	1,529人	1,529人	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	年間のサービス提供回数・世帯数は昨年度よりも減少しているものの、新型コロナウイルスの影響によるものであり、依然として、公的サービスの対象にならない方に対して低廉な料金で日常生活支援を実施し、介護保険制度等を補完する本事業は、札幌市の保健福祉事業において大きな役割を果たしていると考えられる。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	一般職人件費、嘱託職員(コーディネーター職)人件費を補助対象としているが、令和元年度までの過去5年間で職員の配置体制を精査し、事業規模は適切である。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	地域福祉の推進に資する事業を幅広く実施する社会福祉協議会を事業の実施主体とすることは適切である。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	サービスを利用したい人と支援活動を行う人を適切にコーディネートしており、対象者のニーズに応えているものと判断される。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	日常生活において家事援助等のサービスを必要とする人と福祉活動への参加を希望する人が本事業の利用に結び付くよう、より効果的な広報活動を行っていく必要がある。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	人員削減も含めた運営体制等の見直しについて検討している。また、地下鉄駅掲示板にて協会会員募集の周知を行うといった広報活動を行っている。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	効果的・効率的な事業執行に向けた人員配置の実施や、様々な広報手段の活用等を行っているところであるが、引き続き、業務の見直しや効果的な広報活動を行っていく必要がある。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 他のサービスで代替できる除雪や庭の手入れ等の生活援助サービス、従前から利用が少なかった平日夜間及び土日祝日の全サービスについて提供を終了することとし、業務の効率化を進める。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 上記事業整理に伴い人件費が削減される見込みのため、前年度予算から3,000千円減の要求とした。		見直し効果額	3,000